

4月19日(日)①10:30 ②13:10 ③15:50 ④18:30 ●徳島市シビックセンターさくらホール



インドのムンバイで働く、真面目なブラバと陽気なアヌ
仕事、結婚、恋の悩みを抱え海辺の村へ旅をする、優しさに満ちた感動作

遠くから、解き放たれる

インドのムンバイで看護師をしているブラバと、年下の同僚のアヌ。二人はルームメイトとして一緒に暮らしているが、職場と自宅を往復するだけの真面目なブラバと、何事も楽しみたい陽気なアヌの間には少し心の距離があった。

ブラバは親が決めた相手と結婚したが、ドイツで仕事を見つけた夫から、もうずっと音沙汰がない。

アヌには密かに付き合うイスラム教徒の恋人がいるが、お見合い結婚させようとする親に知られたら大反対されることはわかっていた。

そんな中、病院の食堂に勤めるバルヴァティが、高層ビル建築のために立ち退きを迫られ、故郷の海辺の村へ帰ることになる。揺れる想いを抱えたブラバとアヌは、一人で生きていくというバルヴァティを村まで見送る旅に出る。神秘的な森や洞窟のある別世界のような村で、二人はそれぞれの人生を変えようと決意させる、ある出来事に遭遇する――。



私たちが光と想うすべて

私たちが光と想うすべて

光に満ちたやさしく淡い映像美、洗練されたサウンド、そして夢のように詩的で幻想的な世界観を紡ぎ出し、これまでのインド映画のイメージを一新



第77回カンヌ国際映画祭でインド映画史上初のグランプリを受賞し話題となった、新鋭パヤル・カバリーヤー監督初長編劇映画。都会で生きる女性たちが、人生のままならない状況に対峙しながら、ありのままでいたいと願い支え合う姿に、国や文化を超えた共感が湧き上がる感動作。日本から審査員として参加した枝裕和監督も本作を絶賛。ゴールデン・グローブ賞など100以上の映画祭・映画賞にノミネートされ25以上の賞を受賞、オバマ元大統領の2024年のベスト10に選ばれ、70か国以上での上映が決定するなど、世界中から高評価を獲得している。

入会
お申
込

お名前

(男・女) 年齢(歳代)

ご住所 〒

電話番号

徳島でみれない映画をみる会事務局 入会金1000円 月会費1000円 Tel.088-631-5847 Fax.088-631-5848